

県産品食べ パワーに変えて

第100回全国高校野球選手権記念大会に出場する大垣日大高野球部を激励しようとJ AにしみのとJ A全農岐阜は30日、米や飛騨牛など県産農畜産物を贈った。

贈ったのは大垣産のハツシモ100キロ、飛騨牛10キロ、海津産メロン20個、飛騨ほうれんそう18キロ、安八郡神戸町産の小松菜やモロヘイヤなど。

神戸町末守の同校桜神寮を、J Aにしみのの小林徹組合長、地元の下宮青果部会協議会の高

J Aにしみのなど贈る

大垣日大高野球部の甲子園での活躍を祈り、県産の農畜産物を贈った小林徹組合長(左から3人目)ら＝安八郡神戸町末守、同校桜神寮



田仁司会長、J A全農岐阜の桑田博之本部長が訪れ、「汗水流して育てた農畜産物をパワーに変えて、甲子園で暴れてきてほしい」などと古田健二校長、安藤雅哉主将に目録を手渡した。

安藤主将は「感謝の気持ちを忘れず、甲子園の地で戦っていきたい」と意気込みを語った。